

令和2年度那須烏山市一般会計及び特別会計  
歳入歳出決算並びに基金運用状況審査意見書

那須烏山市監査委員

那烏監査第11号  
令和3年8月17日

那須烏山市長 川 俣 純 子 様

那須烏山市監査委員 瀧 田 晴 夫

同 高 田 悦 男

令和2年度那須烏山市一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに基金運用状況  
審査意見書の提出について

令和3年6月23日付け那烏総政第49号により依頼があり、地方自治法第233条第2項及び第241条第5項の規定に基づき審査に付された令和2年度那須烏山市一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに基金の運用状況について、審査を実施したので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

## 目 次

第1	審査の期間等	1
1	審査の期間	1
2	審査の場所	1
第2	審査の対象	1
第3	審査の方法	1
第4	決算の概要	1
1	各会計の決算状況	2
2	一般会計決算状況	4
(1)	決算収支	4
(2)	財政運営の状況	4
3	特別会計決算状況	9
(1)	国民健康保険特別会計	9
A	事業勘定	9
B	診療施設勘定	11
(2)	熊田診療所特別会計	13
(3)	後期高齢者医療特別会計	15
(4)	介護保険特別会計	17
(5)	農業集落排水事業特別会計	20
(6)	下水道事業特別会計	22
第5	財産の管理状況	24
1	公有財産	24
2	基金の運用及び管理状況	25
第6	審査結果及び意見	26

※ 本書における数値等の取扱いについては、以下のとおりである。

1. 文中及び各表中の金額で、千円単位で表示したものは、単位未満を四捨五入で表示している。したがって、内訳の計が「合計」の金額と一致しない場合がある。
2. 比率(%)は、原則として少数第2位を四捨五入して第1位まで表示している。したがって、内訳の構成比の計が「合計」と一致しない場合がある。
3. 収納率とは、調定額に対する収入済額の割合である。

# 令和2年度那須烏山市一般会計及び特別会計 歳入歳出決算並びに基金運用状況審査意見書

## 第1 審査の期間等

### 1 審査の期間

令和3年7月5日（月）～同月13日（火） 実日数5日間

### 2 審査の場所

那須烏山市役所南那須庁舎・水道庁舎

## 第2 審査の対象

- 令和2年度那須烏山市歳入歳出決算書
  - ・ 一般会計
  - ・ 国民健康保険特別会計（事業勘定・診療施設勘定）
  - ・ 熊田診療所特別会計
  - ・ 後期高齢者医療特別会計
  - ・ 介護保険特別会計
  - ・ 農業集落排水事業特別会計
  - ・ 下水道事業特別会計
- 歳入歳出決算事項別明細書
- 実質収支に関する調書
- 財産に関する調書
- 基金の運用状況調書

## 第3 審査の方法

審査に付された決算書及び附属書類について、関係職員から説明を求めながら、次の事項等に主眼を置き審査を行った。

- (1) 決算書類が関係法令に基づいて作成されているか。
- (2) 計数は正確であるか。
- (3) 会計事務は適法に処理されているか。
- (4) 運営は合理的かつ効率的にされているか。
- (5) 財政状態に問題はないか。

## 第4 決算の概要

歳入歳出において、新型コロナウイルス感染症対策関連経費及び農地・農業用施設、公共施設の災害復旧事業経費の予算計上に伴い、市予算規模が増加する一方で、新型コロナウイルスの影響から各事業の執行が出来ず、不用額が生じたことで令和元年度と同様に例年とは異なる予算執行となっている。

## 1 各会計の決算状況

一般会計の当初予算額は10,980,000千円であったが、その後、歳入で主として国庫支出金及び地方交付税等の増収見込みにより4,267,784千円増額補正され、継続費及び繰越事業費繰越財源充当額1,973,638千円とあわせて最終的な予算現額は17,221,422千円、調定額17,521,228千円となっている。

一般会計の決算状況は、歳入総額16,788,135千円、歳出総額16,183,158千円であり、差引残額604,977千円となっている。

特別会計の当初予算は7,154,533千円であったが、114,180千円減額補正され、継続費及び繰越事業費繰越財源充当額13,486千円とあわせて最終的な予算現額は7,053,839千円、調定額7,194,476千円となっている。

特別会計の決算状況は、歳入総額7,097,511千円、歳出総額6,878,959千円であり、差引残高218,552千円となっている。

一般会計及び特別会計総計決算額は、予算現額24,275,261千円に対する歳入総額23,885,647千円、歳出総額23,062,118千円となっており、歳入歳出の差引残額は823,529千円となっている。

一般会計及び特別会計の決算額は、次頁の表のとおりである。

## 【各会計の決算状況】

(単位：円)

会計区分		令和2年度	令和元年度	比較増減	
一般会計	歳入総額	16,788,135,540	12,388,015,041	4,400,120,499	
	歳出総額	16,183,158,048	11,801,024,507	4,382,133,541	
	差引残額	604,977,492	586,990,534	17,986,958	
特別会計	国民健康事業 勘定	歳入総額	3,316,934,024	3,562,156,842	△ 245,222,818
		歳出総額	3,205,066,135	3,416,513,856	△ 211,447,721
		差引残額	111,867,889	145,642,986	△ 33,775,097
	診療施設 勘定	歳入総額	48,291,672	58,034,110	△ 9,742,438
		歳出総額	46,048,935	54,689,230	△ 8,640,295
		差引残額	2,242,737	3,344,880	△ 1,102,143
	熊田 診療所	歳入総額	48,547,757	47,207,781	1,339,976
		歳出総額	44,299,381	44,150,247	149,134
		差引残額	4,248,376	3,057,534	1,190,842
	後期高齢 医療	歳入総額	354,532,074	353,263,926	1,268,148
		歳出総額	351,704,670	348,936,852	2,767,818
		差引残額	2,827,404	4,327,074	△ 1,499,670
	介護保険 勘定	歳入総額	2,904,324,840	2,826,135,294	78,189,546
		歳出総額	2,823,041,693	2,765,338,509	57,703,184
		差引残額	81,283,147	60,796,785	20,486,362
農業集落 排水事業	歳入総額	63,289,401	62,400,526	888,875	
	歳出総額	61,003,286	59,507,636	1,495,650	
	差引残額	2,286,115	2,892,890	△ 606,775	
下水道 事業	歳入総額	361,592,198	339,974,010	21,618,188	
	歳出総額	347,795,861	320,016,294	27,779,567	
	差引残額	13,796,337	19,957,716	△ 6,161,379	
計	歳入総額	7,097,511,966	7,249,172,489	△ 151,660,523	
	歳出総額	6,878,959,961	7,009,152,624	△ 130,192,663	
	差引残額	218,552,005	240,019,865	△ 21,467,860	
合計	歳入総額	23,885,647,506	19,637,187,530	4,248,459,976	
	歳出総額	23,062,118,009	18,810,177,131	4,251,940,878	
	差引残額	823,529,497	827,010,399	△ 3,480,902	

## 2 一般会計決算状況

### (1) 決算収支

一般会計の歳入総額は16,788,135千円、歳出総額は16,183,158千円であり、差引残額は604,977千円となっている。翌年度へ繰り越すべき財源（繰越明許費繰越額）は62,014千円であり、実質収支額は542,963千円となっている。

また、実質収支額のうち、310,000千円を財政調整基金に140,000千円、市有施設整備基金に70,000千円、庁舎整備基金に100,000千円を繰り入れている。

一般会計の決算収支は、次表のとおりである。

#### 【一般会計 決算収支】

(単位：円)

	令和2年度	令和元年度	比較増減	増減率
歳入総額	16,788,135,540	12,388,015,041	4,400,120,499	35.5%
歳出総額	16,183,158,048	11,801,024,507	4,382,133,541	37.1%
差引残額(形式収支)	604,977,492	586,990,534	17,986,958	3.1%
翌年度へ繰り越すべき財源	62,014,400	66,177,000	△ 4,162,600	△ 6.3%
実質収支額	542,963,092	520,813,534	22,149,558	4.3%

### (2) 財政運営の状況

#### ア 歳入について

歳入の状況は、予算現額17,221,422千円、収入済額16,788,135千円であり、予算現額に対し97.5%、調定額17,521,228千円に対しては95.8%の収納率となっている。

収入済額の主なものは、国庫支出金5,686,480千円(33.9%)、地方交付税4,429,104千円(26.4%)、市税3,320,933千円(19.7%)である。収入済額を前年度と比較すると4,400,120千円の増額である。これは、地方交付税が348,751千円、繰入金が119,132千円減少したものの、国庫支出金、県支出金、市債がそれぞれ4,410,113千円、116,728千円、231,000千円増加したことが要因である。

市税の調定額に対する収納率は85.1%となっており、前年度85.4%より0.3ポイント減少している。

収入未済額は713,367千円で、前年度の2,198,133千円に比べ1,484,766千円減少している。収入未済額の内容をみると、主なものは市税560,968千円で、内訳は、市民税72,922千円、固定資産税485,334千円、軽自動車税2,712千円となっており、固定資産税が86.5%を占めている。また、国庫支出金119,634千円、県支出金29,908千円の未収については翌年度に繰り越す

新型コロナウイルス感染症対応事業費及び農林水産事業費補助金である。  
また、不納欠損額が19,726千円生じている。款別でみると市税である。

【一般会計 歳入】

(単位：円)

区 分		予算現額	調定額	収入済額	構成比	不納欠損額	収入未済額
市税	2年度	3,146,649,000	3,901,627,894	3,320,933,029	19.7%	19,726,164	560,968,701
	元年度	3,107,989,000	3,840,683,388	3,278,700,119	26.5%	32,821,468	529,161,801
	比較増減	38,660,000	60,944,506	42,232,910		△ 13,095,304	31,806,900
	増減率	1.2%	1.6%	1.3%		△ 39.9%	6.0%
地方譲与 税	2年度	136,036,000	147,216,000	147,216,000	0.9%	0	0
	元年度	130,659,000	142,802,014	142,802,014	1.1%	0	0
	比較増減	5,377,000	4,413,986	4,413,986		0	0
	増減率	4.1%	3.1%	3.1%			
利子割交 付金	2年度	2,000,000	2,215,000	2,215,000	0.0%	0	0
	元年度	1,857,000	1,857,000	1,857,000	0.0%	0	0
	比較増減	143,000	358,000	358,000		0	0
	増減率	7.7%	19.3%	19.3%			
配当割交 付金	2年度	8,000,000	10,409,000	10,409,000	0.1%	0	0
	元年度	8,000,000	11,628,000	11,628,000	0.1%	0	0
	比較増減	0	△ 1,219,000	△ 1,219,000		0	0
	増減率	0.0%	△ 10.5%	△ 10.5%			
株式等譲 渡所得割 交付金	2年度	5,000,000	11,920,000	11,920,000	0.1%	0	0
	元年度	6,000,000	8,037,000	8,037,000	0.1%	0	0
	比較増減	△ 1,000,000	3,883,000	3,883,000		0	0
	増減率	△ 16.7%	48.3%	48.3%			
法人事業 税交付金	2年度	15,000,000	14,067,000	14,067,000	0.1%	0	0
	元年度	0	0	0	0.0%	0	0
	比較増減	15,000,000	14,067,000	14,067,000		0	0
	増減率	皆増	皆増	皆増			
地方消費 税交付金	2年度	587,893,000	587,893,000	587,893,000	3.5%	0	0
	元年度	450,000,000	478,128,000	478,128,000	3.9%	0	0
	比較増減	137,893,000	109,765,000	109,765,000		0	0
	増減率	30.6%	23.0%	23.0%			
ゴルフ場 利用税交 付金	2年度	37,000,000	38,371,531	38,371,531	0.2%	0	0
	元年度	37,000,000	41,458,030	41,458,030	0.3%	0	0
	比較増減	0	△ 3,086,499	△ 3,086,499		0	0
	増減率	0.0%	△ 7.4%	△ 7.4%			
環境性能 割交付金	2年度	8,000,000	13,371,000	13,371,000	0.1%	0	0
	元年度	4,000,000	6,924,000	6,924,000	0.1%	0	0
	比較増減	4,000,000	6,447,000	6,447,000		0	0
	増減率	100.0%	93.1%	93.1%			
地方特例 交付金	2年度	20,631,000	20,631,000	20,631,000	0.1%	0	0
	元年度	56,507,000	56,507,000	56,507,000	0.4%	0	0
	比較増減	△ 35,876,000	△ 35,876,000	△ 35,876,000		0	0
	増減率	△ 63.5%	△ 63.5%	△ 63.5%			
地方交付 税	2年度	4,429,104,000	4,429,104,000	4,429,104,000	26.4%	0	0
	元年度	4,777,855,000	4,777,855,000	4,777,855,000	38.6%	0	0
	比較増減	△ 348,751,000	△ 348,751,000	△ 348,751,000		0	0
	増減率	△ 7.3%	△ 7.3%	△ 7.3%			
交通安全 対策特別 交付金	2年度	1,800,000	2,466,000	2,466,000	0.0%	0	0
	元年度	2,000,000	2,199,000	2,199,000	0.0%	0	0
	比較増減	△ 200,000	267,000	267,000		0	0
	増減率	△ 10.0%	12.1%	12.1%			
分担金及 び負担金	2年度	112,755,000	70,341,938	67,915,766	0.4%	0	2,426,172
	元年度	130,455,000	100,378,479	72,072,197	0.6%	0	28,306,282
	比較増減	△ 17,700,000	△ 30,036,541	△ 4,156,431		0	△ 25,880,110
	増減率	△ 13.6%	△ 29.9%	△ 5.8%			△ 91.4%



使用料及び手数料	2年度	40,326,000	42,938,614	42,938,614	0.3%	0	0
	元年度	49,324,000	50,987,257	50,987,257	0.4%	0	0
	比較増減	△ 8,998,000	△ 8,048,643	△ 8,048,643		0	0
	増減率	△ 18.2%	△ 15.8%	△ 15.8%			
国庫支出金	2年度	6,148,815,000	5,806,114,286	5,686,480,286	33.9%	0	119,634,000
	元年度	2,758,843,000	2,789,195,923	1,276,366,905	10.3%	0	1,512,829,018
	比較増減	3,389,972,000	3,016,918,363	4,410,113,381		0	△ 1,393,195,018
	増減率	122.9%	108.2%	345.5%			△ 92.1%
県支出金	2年度	1,054,076,000	959,906,785	929,998,785	5.5%	0	29,908,000
	元年度	939,836,000	940,786,545	813,271,045	6.5%	0	127,515,500
	比較増減	114,240,000	19,120,240	116,727,740		0	△ 97,607,500
	増減率	12.2%	2.0%	14.4%			△ 76.5%
財産収入	2年度	6,397,000	6,659,673	6,659,673	0.0%	0	0
	元年度	5,790,000	6,838,373	6,838,373	0.1%	0	0
	比較増減	607,000	△ 178,700	△ 178,700		0	0
	増減率	10.5%	△ 2.6%	△ 2.6%			
寄附金	2年度	16,356,000	17,563,217	17,563,217	0.1%	0	0
	元年度	12,511,000	13,151,966	13,151,966	0.1%	0	0
	比較増減	3,845,000	4,411,251	4,411,251		0	0
	増減率	30.7%	33.5%	33.5%			
繰入金	2年度	21,913,000	21,913,832	21,913,832	0.1%	0	0
	元年度	141,045,000	141,045,676	141,045,676	1.1%	0	0
	比較増減	△ 119,132,000	△ 119,131,844	△ 119,131,844		0	0
	増減率	△ 84.5%	△ 84.5%	△ 84.5%			
繰越金	2年度	286,990,000	286,990,534	286,990,534	1.7%	0	0
	元年度	272,396,000	272,396,299	272,396,299	2.2%	0	0
	比較増減	14,594,000	14,594,235	14,594,235		0	0
	増減率	5.4%	5.4%	5.4%			
諸収入	2年度	257,581,000	277,604,548	277,174,684	1.7%	0	429,864
	元年度	282,279,000	293,428,281	292,881,608	2.4%	226,520	320,153
	比較増減	△ 24,698,000	△ 15,823,733	△ 15,706,924		△ 226,520	109,711
	増減率	△ 8.7%	△ 5.4%	△ 5.4%		皆減	34.3%
市債	2年度	879,100,000	851,900,000	851,900,000	5.1%	0	0
	元年度	933,200,000	620,900,000	620,900,000	5.0%	0	0
	比較増減	△ 54,100,000	231,000,000	231,000,000		0	0
	増減率	△ 5.8%	37.2%	37.2%			
自動車取得税交付金	2年度	0	3,589	3,589	0.0%	0	0
	元年度	18,000,000	22,008,552	22,008,552	0.2%	0	0
	比較増減	△ 18,000,000	△ 22,004,963	△ 22,004,963		0	0
	増減率	皆減	△ 100.0%	△ 100.0%			
合計	2年度	17,221,422,000	17,521,228,441	16,788,135,540	100.0%	19,726,164	713,366,737
	元年度	14,125,546,000	14,619,195,783	12,388,015,041	100.0%	33,047,988	2,198,132,754
	比較増減	3,095,876,000	2,902,032,658	4,400,120,499		△ 13,321,824	△ 1,484,766,017
	増減率	21.9%	19.9%	35.5%		△ 40.3%	△ 67.5%

## イ 歳出について

歳出の状況は、予算現額 17,221,422 千円、支出済額 16,183,158 千円で、予算現額に対し 94.0%の執行率となっている。

款別に支出状況をみると、主なものは総務費 4,189,036 千円 (25.9%)、民生費 3,827,959 千円 (23.7%)、災害復旧費 1,381,710 千円 (8.5%)、衛生費 1,367,579 千円 (8.5%)、公債費 1,331,375 千円 (8.2%)、教育費 1,310,248 千円 (8.1%) である。支出済額を前年と比較すると 4,382,134 千円の増加である。

繰越額の主なものは、保健福祉センター施設整備費（民生費）、農業用ため池防災減災対策推進事業費（農林水産業費）、農林水産施設災害復旧費（災害復旧費）、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費（衛生費）で翌年度繰越が生じており、その総額は 480,570 千円である。

### 【一般会計 歳出】

(単位：円)

区 分		予算現額	支出済額	構成比	繰越額	不用額	執行率
議会費	2年度	135,439,000	132,470,313	0.8%	0	2,968,687	97.8%
	元年度	139,940,000	137,486,361	1.2%	0	2,453,639	98.2%
	比較増減	△ 4,501,000	△ 5,016,048		0	515,048	
	増減率	△ 3.2%	△ 3.6%			21.0%	
総務費	2年度	4,260,771,000	4,189,036,405	25.9%	0	71,734,595	98.3%
	元年度	1,604,910,000	1,548,643,432	13.1%	0	56,266,568	96.5%
	比較増減	2,655,861,000	2,640,392,973		0	15,468,027	
	増減率	165.5%	170.5%			27.5%	
民生費	2年度	4,055,430,000	3,827,958,976	23.7%	159,910,000	67,561,024	94.4%
	元年度	3,923,055,000	3,845,492,127	32.6%	1,100,000	76,462,873	98.0%
	比較増減	132,375,000	△ 17,533,151		158,810,000	△ 8,901,849	
	増減率	3.4%	△ 0.5%		14437.3%	△ 11.6%	
衛生費	2年度	1,444,469,000	1,367,579,094	8.5%	58,522,000	18,367,906	94.7%
	元年度	1,527,110,000	1,388,192,162	11.8%	102,000,000	36,917,838	90.9%
	比較増減	△ 82,641,000	△ 20,613,068		△ 43,478,000	△ 18,549,932	
	増減率	△ 5.4%	△ 1.5%		△ 42.6%	△ 50.2%	
労働費	2年度	203,000	31,000	0.0%	0	172,000	15.3%
	元年度	386,000	205,165	0.0%	0	180,835	53.2%
	比較増減	△ 183,000	△ 174,165		0	△ 8,835	
	増減率	△ 47.4%	△ 84.9%			△ 4.9%	
農林水産業費	2年度	685,293,000	549,761,636	3.4%	124,442,000	11,089,364	80.2%
	元年度	503,205,000	343,757,517	2.9%	149,072,000	10,375,483	68.3%
	比較増減	182,088,000	206,004,119		△ 24,630,000	713,881	
	増減率	36.2%	59.9%		△ 16.5%	6.9%	
商工費	2年度	726,990,000	700,253,752	4.3%	12,506,000	14,230,248	96.3%
	元年度	709,735,000	542,570,844	4.6%	147,744,000	19,420,156	76.4%
	比較増減	17,255,000	157,682,908		△ 135,238,000	△ 5,189,908	
	増減率	2.4%	29.1%		△ 91.5%	△ 26.7%	
土木費	2年度	766,991,000	726,578,531	4.5%	32,750,000	7,662,469	94.7%
	元年度	710,657,000	682,521,530	5.8%	18,158,000	9,977,470	96.0%
	比較増減	56,334,000	44,057,001		14,592,000	△ 2,315,001	
	増減率	7.9%	6.5%		80.4%	△ 23.2%	

消防費	2年度	670,641,000	666,154,889	4.1%	0	4,486,111	99.3%
	元年度	717,928,000	703,676,577	6.0%	0	14,251,423	98.0%
	比較増減	△ 47,287,000	△ 37,521,688		0	△ 9,765,312	
	増減率	△ 6.6%	△ 5.3%			△ 68.5%	
教育費	2年度	1,430,112,000	1,310,248,176	8.1%	6,906,000	112,957,824	91.6%
	元年度	1,288,992,000	1,102,976,531	9.3%	81,100,000	104,915,469	85.6%
	比較増減	141,120,000	207,271,645		△ 74,194,000	8,042,355	
	増減率	10.9%	18.8%		△ 91.5%	7.7%	
災害復旧費	2年度	1,707,380,000	1,381,710,066	8.5%	85,534,400	240,135,534	80.9%
	元年度	1,620,750,000	137,472,614	1.2%	1,474,464,000	8,813,386	8.5%
	比較増減	86,630,000	1,244,237,452		△ 1,388,929,600	231,322,148	
	増減率	5.3%	905.1%		△ 94.2%	2624.7%	
公債費	2年度	1,333,737,000	1,331,375,210	8.2%	0	2,361,790	99.8%
	元年度	1,369,902,000	1,368,029,647	11.6%	0	1,872,353	99.9%
	比較増減	△ 36,165,000	△ 36,654,437		0	489,437	
	増減率	△ 2.6%	△ 2.7%			26.1%	
予備費	2年度	3,966,000	0	0.0%	0	3,966,000	0.0%
	元年度	8,976,000	0	0.0%	0	8,976,000	0.0%
	比較増減	△ 5,010,000	0		0	△ 5,010,000	
	増減率	△ 55.8%				△ 55.8%	
合計	2年度	17,221,422,000	16,183,158,048	100.0%	480,570,400	557,693,552	94.0%
	元年度	14,125,546,000	11,801,024,507	100.0%	1,973,638,000	350,883,493	83.5%
	比較増減	3,095,876,000	4,382,133,541		△ 1,493,067,600	206,810,059	
	増減率	21.9%	37.1%		△ 75.7%	58.9%	

## ウ 地方債の状況

令和2年度末現在の地方債残高は 10,551,435 千円であり、前年度末残高 10,973,589 千円と比べると 422,154 千円の減少となっている。

令和2年度の元利償還額は 1,332,189 千円（元金 1,274,054 千円、利子 58,135 千円）である。

令和2年度の地方債発行状況は、851,900 千円（公共事業等債 66,700 千円、災害復旧事業債 244,900 千円、教育・福祉施設等整備事業債 33,400 千円、一般単独事業債 136,200 千円、辺地対策事業債 47,400 千円、減収補填 23,300 千円、臨時財政対策債 300,000 千円）となっており、前年度発行額 620,900 千円と比べると 231,000 千円の増加である。

### 3 特別会計決算状況

#### (1) 国民健康保険特別会計

##### A 事業勘定

令和2年度の予算現額は3,293,727千円で、歳入総額3,316,934千円、歳出総額3,205,066千円であり、実質収支は、差引残額111,868千円となっている。

また、実質収支額のうち、60,000千円を国民健康保険財政調整基金に繰入れている。

##### ア 歳入について

歳入の状況は収入済額3,316,934千円で、予算現額3,293,727千円に対し100.7%、調定額3,405,700千円に対しては97.4%の収納率となっている。

収入済額の主なものは、県支出金2,280,499千円(68.8%)、国民健康保険税653,583千円(19.7%)である。

国民健康保険税の調定額742,348千円に対する収納率は88.0%となっており、前年度85.5%より2.5ポイント増加している。

収入未済額は、国民健康保険税で82,458千円(現年度分28,126千円、滞納繰越分54,332千円)となっている。

また、不納欠損額が国民健康保険税で6,308千円生じている。

#### 【国民健康保険特別会計・事業勘定 歳入】

(単位：円)

区分	予算現額	調定額	収入済額	構成比	不納欠損額	収入未済額	
国民健康 保険税	2年度	613,264,000	742,348,242	653,582,706	19.7%	6,307,589	82,457,947
	元年度	638,736,000	785,063,824	670,856,975	18.9%	6,963,869	107,242,980
	比較増減	△ 25,472,000	△ 42,715,582	△ 17,274,269		△ 656,280	△ 24,785,033
	増減率	△ 4.0%	△ 5.4%	△ 2.6%		△ 9.4%	△ 23.1%
一部負担 金	2年度	2,000	0	0	0.0%	0	0
	元年度	4,000	0	0	0.0%	0	0
	比較増減	△ 2,000	0	0		0	0
	増減率	△ 50.0%					
使用料及 び手数料	2年度	300,000	396,500	396,500	0.0%	0	0
	元年度	150,000	447,455	447,455	0.0%	0	0
	比較増減	150,000	△ 50,955	△ 50,955		0	0
	増減率	100.0%	△ 11.4%	△ 11.4%			
国庫支出 金	2年度	1,000	3,232,000	3,232,000	0.1%	0	0
	元年度	1,000	1,526,000	1,526,000	0.0%	0	0
	比較増減	0	1,706,000	1,706,000		0	0
	増減率	0.0%	111.8%	111.8%			
療養給付 費等交付 金	2年度	0	0	0	0.0%	0	0
	元年度	1,000	0	0	0.0%	0	0
	比較増減	△ 1,000	0	0		0	0
	増減率	皆減					
県支出金	2年度	2,331,771,000	2,280,499,178	2,280,499,178	68.8%	0	0
	元年度	2,444,502,000	2,471,967,593	2,471,967,593	69.4%	0	0
	比較増減	△ 112,731,000	△ 191,468,415	△ 191,468,415		0	0
	増減率	△ 4.6%	△ 7.7%	△ 7.7%			

財産収入	2年度	78,000	78,854	78,854	0.0%	0	0
	元年度	47,000	46,352	46,352	0.0%	0	0
	比較増減	31,000	32,502	32,502		0	0
	増減率	66.0%	70.1%	70.1%			
寄附金	2年度	1,000	0	0	0.0%	0	0
	元年度	0	0	0	0.0%	0	0
	比較増減	1,000	0	0		0	0
	増減率	皆増					
繰入金	2年度	292,655,000	292,655,000	292,655,000	8.8%	0	0
	元年度	270,768,000	270,768,000	270,768,000	7.6%	0	0
	比較増減	21,887,000	21,887,000	21,887,000		0	0
	増減率	8.1%	8.1%	8.1%			
繰越金	2年度	55,642,000	55,642,986	55,642,986	1.7%	0	0
	元年度	124,666,000	124,666,333	124,666,333	3.5%	0	0
	比較増減	△ 69,024,000	△ 69,023,347	△ 69,023,347		0	0
	増減率	△ 55.4%	△ 55.4%	△ 55.4%			
諸収入	2年度	13,000	30,846,800	30,846,800	0.9%	0	0
	元年度	14,000	21,878,134	21,878,134	0.6%	0	0
	比較増減	△ 1,000	8,968,666	8,968,666		0	0
	増減率	△ 7.1%	41.0%	41.0%			
合計	2年度	3,293,727,000	3,405,699,560	3,316,934,024	100.0%	6,307,589	82,457,947
	元年度	3,478,889,000	3,676,363,691	3,562,156,842	100.0%	6,963,869	107,242,980
	比較増減	△ 185,162,000	△ 270,664,131	△ 245,222,818		△ 656,280	△ 24,785,033
	増減率	△ 5.3%	△ 7.4%	△ 6.9%		△ 9.4%	△ 23.1%

## イ 歳出について

歳出の状況は、支出済額 3,205,066 千円で、予算現額 3,293,727 千円に対し 97.3%の執行率となっている。

款別に支出状況をみると、主なものは保険給付費 2,188,898 千円 (68.3%)、国民健康保険事業費納付金 925,119 千円 (28.9%) である。

### 【国民健康保険特別会計・事業勘定 歳出】

(単位：円)

区分	予算現額	支出済額	構成比	繰越額	不用額	執行率	
総務費	2年度	61,123,000	54,607,051	1.7%	0	6,515,949	89.3%
	元年度	63,430,000	59,549,630	1.7%	0	3,880,370	93.9%
	比較増減	△ 2,307,000	△ 4,942,579		0	2,635,579	
	増減率	△ 3.6%	△ 8.3%			67.9%	
保険給付費	2年度	2,260,866,000	2,188,898,137	68.3%	0	71,967,863	96.8%
	元年度	2,437,259,000	2,389,148,524	69.9%	0	48,110,476	98.0%
	比較増減	△ 176,393,000	△ 200,250,387		0	23,857,387	
	増減率	△ 7.2%	△ 8.4%			49.6%	
国民健康 保険事業 費納付金	2年度	925,120,000	925,118,982	28.9%	0	1,018	100.0%
	元年度	924,990,000	924,987,646	27.1%	0	2,354	100.0%
	比較増減	130,000	131,336		0	△ 1,336	
	増減率	0.0%	0.0%			△ 56.8%	
保健事業 費	2年度	27,554,000	23,556,938	0.7%	0	3,997,062	85.5%
	元年度	30,171,000	26,366,546	0.8%	0	3,804,454	87.4%
	比較増減	△ 2,617,000	△ 2,809,608		0	192,608	
	増減率	△ 8.7%	△ 10.7%			5.1%	
基金積立 金	2年度	80,000	80,000	0.0%	0	0	100.0%
	元年度	79,000	79,000	0.0%	0	0	100.0%
	比較増減	1,000	1,000		0	0	
	増減率	1.3%	1.3%			皆減	

公債費	2年度	62,000	0	0.0%	0	62,000	0.0%
	元年度	83,000	0	0.0%	0	83,000	0.0%
	比較増減	△ 21,000	0		0	△ 21,000	
	増減率	△ 25.3%				△ 25.3%	
諸支出金	2年度	13,922,000	12,805,027	0.4%	0	1,116,973	92.0%
	元年度	17,877,000	16,382,510	0.5%	0	1,494,490	91.6%
	比較増減	△ 3,955,000	△ 3,577,483		0	△ 377,517	
	増減率	△ 22.1%	△ 21.8%			△ 25.3%	
予備費	2年度	5,000,000	0	0.0%	0	5,000,000	0.0%
	元年度	5,000,000	0	0.0%	0	5,000,000	0.0%
	比較増減	0	0		0	0	
	増減率	0.0%				0.0%	
合計	2年度	3,293,727,000	3,205,066,135	100.0%	0	88,660,865	97.3%
	元年度	3,478,889,000	3,416,513,856	100.0%	0	62,375,144	98.2%
	比較増減	△ 185,162,000	△ 211,447,721		0	26,285,721	
	増減率	△ 5.3%	△ 6.2%			42.1%	

## B 診療施設勘定

令和2年度の予算現額 48,715 千円で、歳入総額は 48,292 千円、歳出総額は 46,049 千円であり、実質収支は、差引残額 2,243 千円となっている。

また、実質収支額のうち、500 千円を国民健康保険診療所運営基金に繰り入れられている。

### ア 歳入について

歳入の状況は、収入済額 48,292 千円となっており、予算現額 48,715 千円に対し 99.1%、調定額 48,292 千円に対しては 100%の収納率となっている。

収入済額の主なものは、診療収入 36,215 千円 (75.0%)、繰入金 9,000 千円 (18.6%) である。

### 【国民健康保険特別会計・診療施設勘定 歳入】

(単位：円)

区分	予算現額	調定額	収入済額	構成比	不納欠損額	収入未済額	
診療収入	2年度	36,753,000	36,215,376	36,215,376	75.0%	0	0
	元年度	55,001,000	51,283,180	51,283,180	88.4%	0	0
	比較増減	△ 18,248,000	△ 15,067,804	△ 15,067,804		0	0
	増減率	△ 33.2%	△ 29.4%	△ 29.4%			
使用料及び手数料	2年度	308,000	311,800	311,800	0.6%	0	0
	元年度	352,000	429,290	429,290	0.7%	0	0
	比較増減	△ 44,000	△ 117,490	△ 117,490		0	0
	増減率	△ 12.5%	△ 27.4%	△ 27.4%			
財産収入	2年度	28,000	26,655	26,655	0.1%	0	0
	元年度	15,000	13,535	13,535	0.0%	0	0
	比較増減	13,000	13,120	13,120		0	0
	増減率	86.7%	96.9%	96.9%			
寄附金	2年度	1,000	0	0	0.0%	0	0
	元年度	2,000	0	0	0.0%	0	0
	比較増減	△ 1,000	0	0		0	0
	増減率	△ 50.0%					
繰入金	2年度	9,000,000	9,000,000	9,000,000	18.6%	0	0
	元年度	0	0	0	0.0%	0	0
	比較増減	9,000,000	9,000,000	9,000,000		0	0
	増減率	皆増	皆増	皆増			

繰越金	2年度	2,344,000	2,344,880	2,344,880	4.9%	0	0
	元年度	5,969,000	5,969,957	5,969,957	10.3%	0	0
	比較増減	△ 3,625,000	△ 3,625,077	△ 3,625,077		0	0
	増減率	△ 60.7%	△ 60.7%	△ 60.7%			
諸収入	2年度	281,000	392,961	392,961	0.8%	0	0
	元年度	294,000	338,148	338,148	0.6%	0	0
	比較増減	△ 13,000	54,813	54,813		0	0
	増減率	△ 4.4%	16.2%	16.2%			
合 計	2年度	48,715,000	48,291,672	48,291,672	100.0%	0	0
	元年度	61,633,000	58,034,110	58,034,110	100.0%	0	0
	比較増減	△ 12,918,000	△ 9,742,438	△ 9,742,438		0	0
	増減率	△ 21.0%	△ 16.8%	△ 16.8%			

## イ 歳出について

歳出の状況は、支出済額 46,049 千円であり、予算現額 48,715 千円に対して 94.5%の執行率となっている。

款別に支出状況をみると、主なものは総務費 38,995 千円(84.7%)、医業費 7,027 千円(15.2%)である。

### 【国民健康保険特別会計・診療施設勘定 歳出】

(単位：円)

区 分		予算現額	支出済額	構成比	繰越額	不用額	執行率
総務費	2年度	39,863,000	38,995,276	84.7%	0	867,724	97.8%
	元年度	47,814,000	45,745,531	83.6%	0	2,068,469	95.7%
	比較増減	△ 7,951,000	△ 6,750,255		0	△ 1,200,745	
	増減率	△ 16.6%	△ 14.8%			△ 58.0%	
医業費	2年度	7,800,000	7,026,659	15.2%	0	773,341	90.1%
	元年度	11,753,000	8,910,699	16.3%	0	2,842,301	75.8%
	比較増減	△ 3,953,000	△ 1,884,040		0	△ 2,068,960	
	増減率	△ 33.6%	△ 21.1%			△ 72.8%	
公債費	2年度	25,000	0	0.0%	0	25,000	0.0%
	元年度	33,000	0	0.0%	0	33,000	0.0%
	比較増減	△ 8,000	0		0	△ 8,000	
	増減率	△ 24.2%				△ 24.2%	
諸支出金	2年度	27,000	27,000	0.1%	0	0	100.0%
	元年度	33,000	33,000	0.1%	0	0	100.0%
	比較増減	△ 6,000	△ 6,000		0	0	
	増減率	△ 18.2%	△ 18.2%				
予備費	2年度	1,000,000	0	0.0%	0	1,000,000	0.0%
	元年度	2,000,000	0	0.0%	0	2,000,000	0.0%
	比較増減	△ 1,000,000	0		0	△ 1,000,000	
	増減率	△ 50.0%				△ 50.0%	
合 計	2年度	48,715,000	46,048,935	100.0%	0	2,666,065	94.5%
	元年度	61,633,000	54,689,230	100.0%	0	6,943,770	88.7%
	比較増減	△ 12,918,000	△ 8,640,295		0	△ 4,277,705	
	増減率	△ 21.0%	△ 15.8%			△ 61.6%	



(2) 熊田診療所特別会計

令和2年度の予算現額46,566千円で、歳入総額48,547千円、歳出総額44,299千円であり、実質収支は、差引残額4,248千円となっている。

また、実質収支額のうち、2,000千円を熊田診療所運営基金に繰入れている。

ア 歳入について

歳入の状況は、収入済額48,547千円となっており、予算現額46,566千円に対し104.3%、調定額48,547千円に対しては100%の収納率となっている。

収入済額の主なものは、診療収入28,255千円(58.2%)、繰入金12,133千円(25.0%)である。

【熊田診療所特別会計 歳入】

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	構成比	不納欠損額	収入未済額	
診療収入	2年度	26,389,000	28,255,093	28,255,093	58.2%	0	0
	元年度	29,870,000	29,026,356	29,026,356	61.5%	0	0
	比較増減	△ 3,481,000	△ 771,263	△ 771,263		0	0
	増減率	△ 11.7%	△ 2.7%	△ 2.7%			
使用料及び手数料	2年度	375,000	431,360	431,360	0.9%	0	0
	元年度	386,000	515,560	515,560	1.1%	0	0
	比較増減	△ 11,000	△ 84,200	△ 84,200		0	0
	増減率	△ 2.8%	△ 16.3%	△ 16.3%			
国庫支出金	2年度	5,345,000	5,345,000	5,345,000	11.0%	0	0
	元年度	5,000,000	5,283,000	5,283,000	11.2%	0	0
	比較増減	345,000	62,000	62,000		0	0
	増減率	6.9%	1.2%	1.2%			
財産収入	2年度	2,000	2,328	2,328	0.0%	0	0
	元年度	1,000	1,860	1,860	0.0%	0	0
	比較増減	1,000	468	468		0	0
	増減率	100.0%	25.2%	25.2%			
繰入金	2年度	12,133,000	12,133,000	12,133,000	25.0%	0	0
	元年度	8,000,000	8,000,000	8,000,000	16.9%	0	0
	比較増減	4,133,000	4,133,000	4,133,000		0	0
	増減率	51.7%	51.7%	51.7%			
繰越金	2年度	2,057,000	2,057,534	2,057,534	4.2%	0	0
	元年度	3,721,000	3,721,488	3,721,488	7.9%	0	0
	比較増減	△ 1,664,000	△ 1,663,954	△ 1,663,954		0	0
	増減率	△ 44.7%	△ 44.7%	△ 44.7%			
諸収入	2年度	265,000	323,442	323,442	0.7%	0	0
	元年度	622,000	659,517	659,517	1.4%	0	0
	比較増減	△ 357,000	△ 336,075	△ 336,075		0	0
	増減率	△ 57.4%	△ 51.0%	△ 51.0%			
合 計	2年度	46,566,000	48,547,757	48,547,757	100.0%	0	0
	元年度	47,600,000	47,207,781	47,207,781	100.0%	0	0
	比較増減	△ 1,034,000	1,339,976	1,339,976		0	0
	増減率	△ 2.2%	2.8%	2.8%			



## イ 歳出について

歳出の状況は、支出済額 44,299 千円であり、予算現額 46,566 千円に対し 95.1%の執行率となっている。

款別に支出状況をみると、主なものは総務費 33,541 千円(75.7%)、医業費 10,755 千円(24.3%)である。

### 【熊田診療所特別会計 歳出】

(単位：円)

区 分		予算現額	支出済額	構成比	繰越額	不用額	執行率
総務費	2年度	34,112,000	33,540,899	75.7%	0	571,101	98.3%
	元年度	33,597,000	33,085,849	74.9%	0	511,151	98.5%
	比較増減	515,000	455,050		0	59,950	
	増減率	1.5%	1.4%			11.7%	
医業費	2年度	12,104,000	10,755,482	24.3%	0	1,348,518	88.9%
	元年度	13,481,000	11,060,398	25.1%	0	2,420,602	82.0%
	比較増減	△ 1,377,000	△ 304,916		0	△ 1,072,084	
	増減率	△ 10.2%	△ 2.8%			△ 44.3%	
公債費	2年度	13,000	0	0.0%	0	13,000	0.0%
	元年度	17,000	0	0.0%	0	17,000	0.0%
	比較増減	△ 4,000	0		0	△ 4,000	
	増減率	△ 23.5%				△ 23.5%	
諸支出金	2年度	4,000	3,000	0.0%	0	1,000	75.0%
	元年度	5,000	4,000	0.0%	0	1,000	80.0%
	比較増減	△ 1,000	△ 1,000		0	0	
	増減率	△ 20.0%	△ 25.0%			0.0%	
予備費	2年度	333,000	0	0.0%	0	333,000	0.0%
	元年度	500,000	0	0.0%	0	500,000	0.0%
	比較増減	△ 167,000	0		0	△ 167,000	
	増減率	△ 33.4%				△ 33.4%	
合 計	2年度	46,566,000	44,299,381	100.0%	0	2,266,619	95.1%
	元年度	47,600,000	44,150,247	100.0%	0	3,449,753	92.8%
	比較増減	△ 1,034,000	149,134		0	△ 1,183,134	
	増減率	△ 2.2%	0.3%			△ 34.3%	

(3) 後期高齢者医療特別会計

令和2年度の予算現額 366,553 千円で、歳入総額 354,532 千円、歳出総額 351,705 千円であり、実質収支は、差引残額 2,827 千円となっている。

ア 歳入について

歳入の状況は、収入済額 354,532 千円で、予算現額 366,553 千円に対し 96.7%、調定額 355,696 千円に対しては 99.7%の収納率となっている。

収入済額の主なものは、後期高齢者医療保険料 239,844 千円(67.7%)、繰入金 92,537 千円(26.1%)である。

後期高齢者医療保険料の調定額 241,008 千円に対する収納率は 99.5%となっており、前年度 99.6%より 0.1 ポイント減少している。

収入未済額は、後期高齢者医療保険料 1,162 千円(現年度分 641 千円、滞納繰越分 956 千円、現年度還付未済分 435 千円)となっている。

また、不納欠損額が後期高齢者医療保険料で 2 千円生じている。

【後期高齢者医療特別会計 歳入】

(単位：円)

区分		予算現額	調定額	収入済額	構成比	不納欠損額	収入未済額
後期高齢者医療保険料	2年度	249,958,000	241,007,507	239,843,740	67.7%	2,200	1,161,567
	元年度	238,221,000	237,752,789	236,767,782	67.0%	6,800	978,207
	比較増減	11,737,000	3,254,718	3,075,958		△ 4,600	183,360
	増減率	4.9%	1.4%	1.3%		△ 67.6%	18.7%
使用料及び手数料	2年度	2,000	45,900	45,900	0.0%	0	0
	元年度	2,000	51,700	51,700	0.0%	0	0
	比較増減	0	△ 5,800	△ 5,800		0	0
	増減率	0.0%	△ 11.2%	△ 11.2%			
繰入金	2年度	92,537,000	92,537,000	92,537,000	26.1%	0	0
	元年度	92,022,000	92,022,000	92,022,000	26.1%	0	0
	比較増減	515,000	515,000	515,000		0	0
	増減率	0.6%	0.6%	0.6%			
繰越金	2年度	4,327,000	4,327,074	4,327,074	1.2%	0	0
	元年度	5,003,000	5,003,474	5,003,474	1.4%	0	0
	比較増減	△ 676,000	△ 676,400	△ 676,400		0	0
	増減率	△ 13.5%	△ 13.5%	△ 13.5%			
諸収入	2年度	19,729,000	17,778,360	17,778,360	5.0%	0	0
	元年度	20,654,000	19,418,970	19,418,970	5.5%	0	0
	比較増減	△ 925,000	△ 1,640,610	△ 1,640,610		0	0
	増減率	△ 4.5%	△ 8.4%	△ 8.4%			
合計	2年度	366,553,000	355,695,841	354,532,074	100.0%	2,200	1,161,567
	元年度	355,902,000	354,248,933	353,263,926	100.0%	6,800	978,207
	比較増減	10,651,000	1,446,908	1,268,148		△ 4,600	183,360
	増減率	3.0%	0.4%	0.4%		△ 67.6%	18.7%

## イ 歳出について

歳出の状況は、支出済額 351,705 千円であり、予算現額 366,553 千円に対し 95.9%の執行率となっている。

款別に支出状況を見ると、主なものは後期高齢者医療広域連合納付金 320,124 千円で支出済額の 91.0%を占めている。

### 【後期高齢者医療特別会計 歳出】

(単位：円)

区 分		予算現額	支出済額	構成比	繰越額	不用額	執行率
総務費	2年度	4,090,000	3,922,241	1.1%	0	167,759	95.9%
	元年度	3,561,000	3,392,950	1.0%	0	168,050	95.3%
	比較増減	529,000	529,291		0	△ 291	
	増減率	14.9%	15.6%			△ 0.2%	
後期高齢者 医療広域連 合納付金	2年度	332,022,000	320,123,832	91.0%	0	11,898,168	96.4%
	元年度	321,785,000	317,279,157	90.9%	0	4,505,843	98.6%
	比較増減	10,237,000	2,844,675		0	7,392,325	
	増減率	3.2%	0.9%			皆増	
後期高齢 者健診事 業	2年度	29,422,000	27,134,297	7.7%	0	2,287,703	92.2%
	元年度	29,544,000	28,053,745	8.0%	0	1,490,255	95.0%
	比較増減	△ 122,000	△ 919,448		0	797,448	
	増減率	△ 0.4%	△ 3.3%			53.5%	
諸支出金	2年度	584,000	524,300	0.2%	0	59,700	89.8%
	元年度	495,000	211,000	0.1%	0	284,000	42.6%
	比較増減	89,000	313,300		0	△ 224,300	
	増減率	18.0%	148.5%			△ 79.0%	
公債費	2年度	13,000	0	0.0%	0	13,000	0.0%
	元年度	17,000	0	0.0%	0	17,000	0.0%
	比較増減	△ 4,000	0		0	△ 4,000	
	増減率	△ 23.5%				△ 23.5%	
予備費	2年度	422,000	0	0.0%	0	422,000	0.0%
	元年度	500,000	0	0.0%	0	500,000	0.0%
	比較増減	△ 78,000	0		0	△ 78,000	
	増減率	△ 15.6%				△ 15.6%	
合 計	2年度	366,553,000	351,704,670	100.0%	0	14,848,330	95.9%
	元年度	355,902,000	348,936,852	100.0%	0	6,965,148	98.0%
	比較増減	10,651,000	2,767,818		0	7,883,182	
	増減率	3.0%	0.8%			113.2%	

(4) 介護保険特別会計

令和2年度の予算現額2,876,645千円で、歳入総額2,904,325千円、歳出総額2,823,042千円であり、実質収支は、差引残額81,283千円となっている。

また、実質収支額のうち、10,000千円を介護保険財政調整基金に繰入れている。

ア 歳入について

歳入の状況は、収入済額2,904,325千円となっており、予算現額2,876,645千円に対し101.0%、調定額2,910,372千円に対しては99.8%の収納率となっている。

収入済額の主なものは、支払基金交付金735,351千円(25.3%)、国庫支出金696,477千円(24.0%)、保険料567,716千円(19.5%)である。

保険料の調定額573,764千円に対する収納率は98.9%となっており、前年度98.7%より0.2ポイント増加している。

収入未済額は、保険料5,541千円(現年度分2,407千円、滞納繰越分3,703千円、過年度分13千円、現年度還付未済分556千円)となっている。

また、不納欠損額が保険料で506千円生じている。

【介護保険特別会計 歳入】

(単位：円)

区分	予算現額	調定額	収入済額	構成比	不納欠損額	収入未済額	
保険料	2年度	561,508,000	573,763,516	567,715,875	19.5%	506,400	5,541,241
	元年度	540,673,000	583,648,035	576,047,456	20.4%	1,004,063	6,596,516
	比較増減	20,835,000	△ 9,884,519	△ 8,331,581		△ 497,663	△ 1,055,275
	増減率	3.9%	△ 1.7%	△ 1.4%		△ 49.6%	△ 16.0%
使用料及び手数料	2年度	1,000	97,900	97,900	0.0%	0	0
	元年度	1,000	102,600	102,600	0.0%	0	0
	比較増減	0	△ 4,700	△ 4,700		0	0
	増減率	0.0%	△ 4.6%	△ 4.6%			
国庫支出金	2年度	679,244,000	696,476,800	696,476,800	24.0%	0	0
	元年度	677,472,000	679,639,075	679,639,075	24.1%	0	0
	比較増減	1,772,000	16,837,725	16,837,725		0	0
	増減率	0.3%	2.5%	2.5%			
支払基金交付金	2年度	735,350,000	735,351,031	735,351,031	25.3%	0	0
	元年度	704,762,000	704,762,253	704,762,253	24.9%	0	0
	比較増減	30,588,000	30,588,778	30,588,778		0	0
	増減率	4.3%	4.3%	4.3%			
県支出金	2年度	409,552,000	413,334,204	413,334,204	14.2%	0	0
	元年度	395,284,000	395,286,134	395,286,134	14.0%	0	0
	比較増減	14,268,000	18,048,070	18,048,070		0	0
	増減率	3.6%	4.6%	4.6%			
財産収入	2年度	45,000	45,019	45,019	0.0%	0	0
	元年度	43,000	43,593	43,593	0.0%	0	0
	比較増減	2,000	1,426	1,426		0	0
	増減率	4.7%	3.3%	3.3%			
繰入金	2年度	440,083,000	440,083,000	440,083,000	15.2%	0	0
	元年度	418,615,000	418,614,000	418,614,000	14.8%	0	0
	比較増減	21,468,000	21,469,000	21,469,000		0	0
	増減率	5.1%	5.1%	5.1%			

繰越金	2年度	50,796,000	50,796,785	50,796,785	1.8%	0	0
	元年度	51,020,000	51,020,004	51,020,004	1.8%	0	0
	比較増減	△ 224,000	△ 223,219	△ 223,219		0	0
	増減率	△ 0.4%	△ 0.4%	△ 0.4%			
諸収入	2年度	66,000	424,226	424,226	0.0%	0	0
	元年度	59,000	620,179	620,179	0.0%	0	0
	比較増減	7,000	△ 195,953	△ 195,953		0	0
	増減率	11.9%	△ 31.6%	△ 31.6%			
合計	2年度	2,876,645,000	2,910,372,481	2,904,324,840	100.0%	506,400	5,541,241
	元年度	2,787,929,000	2,833,735,873	2,826,135,294	100.0%	1,004,063	6,596,516
	比較増減	88,716,000	76,636,608	78,189,546		△ 497,663	△ 1,055,275
	増減率	3.2%	2.7%	2.8%		△ 49.6%	△ 16.0%

## イ 歳出について

歳出の状況は、支出済額 2,823,042 千円であり、予算現額 2,876,645 千円に対し 98.1%の執行率となっている。

款別に支出状況を見ると、主なものは保険給付費 2,601,634 千円で支出済額の 92.2%を占めている。

### 【介護保険特別会計 歳出】

(単位：円)

区分		予算現額	支出済額	構成比	繰越額	不用額	執行率
総務費	2年度	62,233,000	57,838,686	2.0%	0	4,394,314	92.9%
	元年度	62,507,000	56,771,947	2.1%	0	5,735,053	90.8%
	比較増減	△ 274,000	1,066,739		0	△ 1,340,739	
	増減率	△ 0.4%	1.9%			△ 23.4%	
保険給付費	2年度	2,642,321,000	2,601,634,382	92.2%	0	40,686,618	98.5%
	元年度	2,556,823,000	2,546,637,153	92.1%	0	10,185,847	99.6%
	比較増減	85,498,000	54,997,229		0	30,500,771	
	増減率	3.3%	2.2%			299.4%	
地域支援事業費	2年度	148,514,000	140,731,044	5.0%	0	7,782,956	94.8%
	元年度	148,012,000	142,641,632	5.1%	0	5,370,368	96.4%
	比較増減	502,000	△ 1,910,588		0	2,412,588	
	増減率	0.3%	△ 1.3%			44.9%	
基金積立金	2年度	54,000	54,000	0.0%	0	0	100.0%
	元年度	88,000	88,000	0.0%	0	0	100.0%
	比較増減	△ 34,000	△ 34,000		0	0	
	増減率	△ 38.6%	△ 38.6%				
公債費	2年度	62,000	0	0.0%	0	62,000	0.0%
	元年度	83,000	0	0.0%	0	83,000	0.0%
	比較増減	△ 21,000	0		0	△ 21,000	
	増減率	△ 25.3%				△ 25.3%	
諸支出金	2年度	22,870,000	22,783,581	0.8%	0	86,419	99.6%
	元年度	19,943,000	19,199,777	0.7%	0	743,223	96.3%
	比較増減	2,927,000	3,583,804		0	△ 656,804	
	増減率	14.7%	18.7%			△ 88.4%	

予備費	2年度	591,000	0	0.0%	0	591,000	0.0%
	元年度	473,000	0	0.0%	0	473,000	0.0%
	比較増減	118,000	0		0	118,000	
	増減率	24.9%				24.9%	
合計	2年度	2,876,645,000	2,823,041,693	100.0%	0	53,603,307	98.1%
	元年度	2,787,929,000	2,765,338,509	100.0%	0	22,590,491	99.2%
	比較増減	88,716,000	57,703,184		0	31,012,816	
	増減率	3.2%	2.1%			137.3%	

(5) 農業集落排水事業特別会計

令和2年度の予算現額 62,552 千円で、歳入総額 63,289 千円、歳出総額 61,003 千円であり、実質収支は、差引残額 2,286 千円となっている。

ア 歳入について

歳入の状況は、収入済額 63,289 千円となっており、予算現額 62,552 千円に対し 101.2%、調定額 63,385 千円に対しては 99.8%の収納率となっている。

収入済額の主なものは、繰入金 38,000 千円(60.0%)、使用料及び手数料 11,697 千円(18.5%)である。

使用料及び手数料の調定額 11,792 千円に対する収納率は 99.2%となっており、前年度 98.8%より 0.4 ポイント増加している。

収入未済額は、使用料及び手数料で 96 千円（現年度分 63 千円、滞納繰越分 33 千円）となっている。

【農業集落排水事業特別会計 歳入】

(単位：円)

区 分		予算現額	調定額	収入済額	構成比	不納欠損額	収入未済額
分担金及び負担金	2年度	0	0	0	0.0%	0	0
	元年度	700,000	700,000	700,000	1.1%	0	0
	比較増減	△ 700,000	△ 700,000	△ 700,000		0	0
	増減率	皆減	皆減	皆減			
使用料及び手数料	2年度	10,959,000	11,792,195	11,696,511	18.5%	0	95,684
	元年度	10,819,000	11,478,885	11,346,024	18.2%	0	132,861
	比較増減	140,000	313,310	350,487		0	△ 37,177
	増減率	1.3%	2.7%	3.1%			△ 28.0%
県支出金	2年度	2,000,000	2,000,000	2,000,000	3.2%	0	0
	元年度	0	0	0	0.0%	0	0
	比較増減	2,000,000	2,000,000	2,000,000		0	0
	増減率	皆増	皆増	皆増			
繰入金	2年度	38,000,000	38,000,000	38,000,000	60.0%	0	0
	元年度	41,480,000	41,480,000	41,480,000	66.5%	0	0
	比較増減	△ 3,480,000	△ 3,480,000	△ 3,480,000		0	0
	増減率	△ 8.4%	△ 8.4%	△ 8.4%			
繰越金	2年度	2,892,000	2,892,890	2,892,890	4.6%	0	0
	元年度	2,774,000	2,774,502	2,774,502	4.4%	0	0
	比較増減	118,000	118,388	118,388		0	0
	増減率	4.3%	4.3%	4.3%			
諸収入	2年度	1,000	0	0	0.0%	0	0
	元年度	1,000	0	0	0.0%	0	0
	比較増減	0	0	0		0	0
	増減率	0.0%					
市債	2年度	8,700,000	8,700,000	8,700,000	13.7%	0	0
	元年度	6,100,000	6,100,000	6,100,000	9.8%	0	0
	比較増減	2,600,000	2,600,000	2,600,000		0	0
	増減率	42.6%	42.6%	42.6%			
合計	2年度	62,552,000	63,385,085	63,289,401	100.0%	0	95,684
	元年度	61,874,000	62,533,387	62,400,526	100.0%	0	132,861
	比較増減	678,000	851,698	888,875		0	△ 37,177
	増減率	1.1%	1.4%	1.4%			△ 28.0%

## イ 歳出について

歳出の状況は、支出済額 61,003 千円であり、予算現額 62,552 千円に対し 97.5%の執行率となっている。

款別に支出状況を見ると、主なものは総務費 34,076 千円(55.9%)、公債費 26,729 千円(43.8%)である。

### 【農業集落排水事業特別会計 歳出】

(単位：円)

区分	予算現額	支出済額	構成比	繰越額	不用額	執行率	
総務費	2年度	35,126,000	34,076,297	55.9%	0	1,049,703	97.0%
	元年度	34,562,000	33,109,064	55.6%	0	1,452,936	95.8%
	比較増減	564,000	967,233		0	△ 403,233	
	増減率	1.6%	2.9%			△ 27.8%	
事業費	2年度	385,000	198,000	0.3%	0	187,000	51.4%
	元年度	673,000	0	0.0%	0	673,000	0.0%
	比較増減	△ 288,000	198,000		0	△ 486,000	
	増減率	△ 42.8%	皆減			△ 72.2%	
公債費	2年度	26,852,000	26,728,989	43.8%	0	123,011	99.5%
	元年度	26,471,000	26,398,572	44.4%	0	72,428	99.7%
	比較増減	381,000	330,417		0	50,583	
	増減率	1.4%	1.3%			69.8%	
諸支出金	2年度	2,000	0	0.0%	0	2,000	0.0%
	元年度	2,000	0	0.0%	0	2,000	0.0%
	比較増減	0	0		0	0	
	増減率	0.0%				0.0%	
予備費	2年度	187,000	0	0.0%	0	187,000	0.0%
	元年度	166,000	0	0.0%	0	166,000	0.0%
	比較増減	21,000	0		0	21,000	
	増減率	12.7%				12.7%	
合計	2年度	62,552,000	61,003,286	100.0%	0	1,548,714	97.5%
	元年度	61,874,000	59,507,636	100.0%	0	2,366,364	96.2%
	比較増減	678,000	1,495,650		0	△ 817,650	
	増減率	1.1%	2.5%			△ 34.6%	

## ウ 地方債の状況

令和2年度末現在の地方債残高は 202,808 千円であり、前年度末残高 217,053 千円と比べると 14,245 千円の減少となっている。

令和2年度の地方債発行状況は、8,700 千円となっており、前年度発行額 6,100 千円と比べると 2,600 千円の増加である。



(6) 下水道事業特別会計

令和2年度の予算現額 359,081 千円で、歳入総額 361,592 千円、歳出総額 347,796 千円であり、実質収支は、差引残額 13,796 千円となっている。

ア 歳入について

歳入の状況は、収入済額 361,592 千円であり、予算現額 359,081 千円に対し 100.7%、調定額 362,483 千円に対しては 99.8%の収納率となっている。

収入済額の主なものは、繰入金 228,295 千円(63.1%)、市債 50,600 千円(14.0%)、使用料及び手数料 47,185 千円(13.1%)である。

分担金及び負担金の調定額 3,194 千円に対する収納率は 89.4%となっており、前年度 81.2%より 8.2 ポイント増加している。使用料及び手数料の調定額 47,737 千円に対する収納率は 98.8%で、前年度 99.2%より 0.4 ポイント減少している。

収入未済額は、分担金及び負担金 194 千円(滞納繰越分 194 千円)、使用料及び手数料 530 千円(現年度分 385 千円、滞納繰越分 145 千円)となっている。

また、不納欠損額が分担金及び負担金で 143 千円、使用料及び手数料で 22 千円生じている。

【下水道事業特別会計 歳入】

(単位：円)

区分	予算現額	調定額	収入済額	構成比	不納欠損額	収入未済額	
分担金及び負担金	2年度	2,683,000	3,194,200	2,856,600	0.8%	143,200	194,400
	元年度	4,322,000	3,779,700	3,070,500	0.9%	196,400	512,800
	比較増減	△ 1,639,000	△ 585,500	△ 213,900		△ 53,200	△ 318,400
	増減率	△ 37.9%	△ 15.5%	△ 7.0%		△ 27.1%	△ 62.1%
使用料及び手数料	2年度	44,976,000	47,737,852	47,184,952	13.1%	22,472	530,428
	元年度	43,852,000	46,724,289	46,352,845	13.6%	16,556	354,888
	比較増減	1,124,000	1,013,563	832,107		5,916	175,540
	増減率	2.6%	2.2%	1.8%		35.7%	49.5%
国庫支出金	2年度	3,750,000	3,750,000	3,750,000	1.0%	0	0
	元年度	13,000,000	13,000,000	13,000,000	3.8%	0	0
	比較増減	△ 9,250,000	△ 9,250,000	△ 9,250,000		0	0
	増減率	△ 71.2%	△ 71.2%	△ 71.2%			
繰入金	2年度	228,295,000	228,295,000	228,295,000	63.1%	0	0
	元年度	216,080,000	216,080,000	216,080,000	63.6%	0	0
	比較増減	12,215,000	12,215,000	12,215,000		0	0
	増減率	5.7%	5.7%	5.7%			
繰越金	2年度	19,957,000	19,957,716	19,957,716	5.5%	0	0
	元年度	14,609,000	14,609,465	14,609,465	4.3%	0	0
	比較増減	5,348,000	5,348,251	5,348,251		0	0
	増減率	36.6%	36.6%	36.6%			
諸収入	2年度	8,820,000	8,947,930	8,947,930	2.5%	0	0
	元年度	8,024,000	1,161,200	1,161,200	0.4%	0	0
	比較増減	796,000	7,786,730	7,786,730		0	0
	増減率	9.9%	670.6%	670.6%			

市債	2年度	50,600,000	50,600,000	50,600,000	14.0%	0	0
	元年度	45,700,000	45,700,000	45,700,000	13.4%	0	0
	比較増減	4,900,000	4,900,000	4,900,000		0	0
	増減率	10.7%	10.7%	10.7%			
合計	2年度	359,081,000	362,482,698	361,592,198	100.0%	165,672	724,828
	元年度	345,587,000	341,054,654	339,974,010	100.0%	212,956	867,688
	比較増減	13,494,000	21,428,044	21,618,188		△ 47,284	△ 142,860
	増減率	3.9%	6.3%	6.4%		△ 22.2%	△ 16.5%

## イ 歳出について

歳出の状況は、支出済額 347,796 千円であり、予算現額 359,081 千円に対し 96.9%の執行率となっている。

款別に支出状況を見ると、主なものは公債費 194,071 千円 (55.8%)、総務費 128,716 千円 (37.0%)、事業費 25,009 千円 (7.2%) である。

### 【下水道事業特別会計 歳出】

(単位：円)

区分	予算現額	支出済額	構成比	繰越額	不用額	執行率	
総務費	2年度	133,506,000	128,716,182	37.0%	0	4,789,818	96.4%
	元年度	88,938,000	83,763,818	26.2%	0	5,174,182	94.2%
	比較増減	44,568,000	44,952,364		0	△ 384,364	
	増減率	50.1%	53.7%			△ 7.4%	
事業費	2年度	29,674,000	25,008,909	7.2%	0	4,665,091	84.3%
	元年度	67,052,000	48,426,137	15.1%	13,486,000	5,139,863	72.2%
	比較増減	△ 37,378,000	△ 23,417,228		△ 13,486,000	△ 474,772	
	増減率	△ 55.7%	△ 48.4%		皆減	△ 9.2%	
公債費	2年度	194,758,000	194,070,770	55.8%	0	687,230	99.6%
	元年度	188,429,000	187,826,339	58.7%	0	602,661	99.7%
	比較増減	6,329,000	6,244,431		0	84,569	
	増減率	3.4%	3.3%			14.0%	
諸支出金	2年度	2,000	0	0.0%	0	2,000	0.0%
	元年度	2,000	0	0.0%	0	2,000	0.0%
	比較増減	0	0		0	0	
	増減率	0.0%				0.0%	
予備費	2年度	1,141,000	0	0.0%	0	1,141,000	0.0%
	元年度	1,166,000	0	0.0%	0	1,166,000	0.0%
	比較増減	△ 25,000	0		0	△ 25,000	
	増減率	△ 2.1%				△ 2.1%	
合計	2年度	359,081,000	347,795,861	100.0%	0	11,285,139	96.9%
	元年度	345,587,000	320,016,294	100.0%	13,486,000	12,084,706	92.6%
	比較増減	13,494,000	27,779,567		△ 13,486,000	△ 799,567	
	増減率	3.9%	8.7%		皆減	△ 6.6%	

## ウ 地方債の状況

令和2年度末現在の地方債残高は 2,219,821 千円であり、前年度末残高 2,326,678 千円と比べると 106,857 千円の減少となっている。

令和2年度の地方債発行状況は、50,600 千円となっており、前年度発行額 45,700 千円と比べると 4,900 千円の減少である。

## 第5 財産の管理状況

### 1 公有財産

土地及び建物について、土地は、普通財産から行政財産への分類替え及び地籍調査成果によるすくすく保育園敷地面積の増加などにより、建物は、荒川体育館及び市民ふれあい農園管理棟の解体を行ったことで建物面積に減少が生じている。

山林において、民間企業へ売却により面積及び推定蓄積量に減少が生じている。

また、本市は、日光杉並木を守り後世に引き継ぐために栃木県が行っている「杉並木オーナー制度」の趣旨に賛同し、旧南那須町と旧烏山町が合併前にそれぞれ1本ずつ購入した計2本の並木杉を所有している。

#### 【土地及び建物】

区 分		土 地 ( 地 積 ) m <sup>2</sup>		建物 ( 延床面積 ) m <sup>2</sup>	
		年度末現在高	年度中増減高	年度末現在高	年度中増減高
行政財産	庁舎	13,611.39		5,923.79	
	消防施設	11,057.62		2,174.27	
	その他の施設	64,022.85		5,401.71	
	公共用財産				
	学 校	240,653.48		43,193.05	
	公 営 住 宅	19,128.20		5,477.95	
	公 園	213,281.08		1,025.07	△ 14.00
	その他の施設	243,484.47	384.00	28,853.10	△ 880.00
行政財産計		805,239.09	384.00	92,048.94	△ 894.00
普通財産	土地				
	山 林	137,766.83			
	そ の 他	244,178.37	△ 249.00		
	建物				
	住 宅				
	そ の 他			10,522.80	
普通財産計		381,945.20	△ 249.00	10,522.80	
合 計		1,187,184.29	135.00	102,571.74	△ 894.00

#### 【山林】

区 分		面 積 ( m <sup>2</sup> )		立木の推定蓄積量 ( m <sup>3</sup> )	
		年度末現在高	年度中増減	年度末現在高	年度中増減
所 有		137,766.83		6,701.66	63.48
分 収		313,617.43	△ 1,651.00	10,587.76	△ 1,001.95
その他権限によるもの					
並 木 杉				2本	

## 2 基金の運用及び管理状況

基金において、一般会計 14 基金及び特別会計 5 基金の計 19 基金として、年度末現在高 8,904,659 千円であり、前年度末現在高 8,239,892 千円と比べると 664,767 千円増加している。

奨学基金、国民健康保険診療所運営基金及び熊田診療所運営基金については、事業の実施に伴い残高が減少となったが、庁舎整備基金、財政調整基金及び市有施設整備基金は決算剰余金処分や予算計上による積立、国民健康保険財政調整基金等は、決算剰余金処分による積立により増加となった。

基金は目的別に、足利銀行、栃木銀行、烏山信用金庫、那須南農業協同組合、ゆうちょ銀行の 5 金融機関に分散し、定期預金を主体に運用している。奨学基金の一部及び市有施設整備基金の一部については、地方債による運用をしている。

【令和 2 年度末基金現在高】

(単位：千円)

会計別	区分	種別	年度末現在高	年度中増減高
一般会計	財政調整基金	現金	2,062,665	210,293
	減債基金	現金	117,539	18
	市有施設整備基金	地方債	100,000	0
		現金	1,644,987	50,240
	土地開発基金	現金	138,618	28
		土地	61,571 3,159㎡	0 0㎡
	ふるさと応援基金	現金	19,493	5,332
	庁舎整備基金	現金	1,602,225	362,015
	地域振興基金	現金	1,340,000	0
	収入印紙等購買基金	現金	862	121
		印紙等	1,138	△ 121
	地域福祉基金	現金	260,780	307
	森林環境整備促進基金	現金	14,881	9,689
	富士見台工業団地整備管理基金	現金	36,669	△ 157
	奨学基金	地方債	330,000	0
		現金	78,117	△ 1,792
学校施設整備基金	現金	166,954	34	
図書館振興基金	現金	3,366	1	
国民健康保険特別会計	国民健康保険財政調整基金	現金	423,951	37,079
	国民健康保険高額療養資金貸付基金	現金	10,063	101
		貸付金	0	△ 100
国民健康保険診療所運営基金	現金	125,227	△ 7,973	
熊田診療所特別会計	熊田診療所運営基金	現金	5,069	△ 6,497
介護保険特別会計	介護保険財政調整基金	現金	360,484	6,149
合 計			8,904,659	

## 第6 審査結果及び意見

令和2年度の各会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書及び実質収支に関する調書の計数は、審査した範囲の結果では適正かつ正確であると認められる。

また、予算の執行状況、財務に関する事務及び財産の管理については、概ね適正に執行されたものと認められる。

基金についても、概ねそれぞれの設置目的に沿って適正かつ効率的に運用されている。

主な審査意見としては、以下に記述するとおりである。

### ○一般会計

一般会計の歳入については、歳入総額 167 億 8,813 万 5 千円であり、前年度と比較すると 44 億 12 万円の増加となっている。財源の構成比率を見てみると自主財源は 24.1%で、前年度より 9.2 ポイント減少しており、依存財源に頼らざるを得ない歳入構造は変わらない。

収入未済額については、県と連携した共同催告や徴収等にも取り組み、長年の懸案事項であった大口滞納法人の不動産公売を実施したことに対して評価する。引続き滞納者に対する差押え処分などの法的措置も含め、その解消に一層の努力をされたい。特に、市税の徴収率は、6年連続県内最下位となったことによる市民の不公平感が生じないよう、市民に対するこれまで以上に丁寧な情報提供をはじめ必要な対応を願いたい。なお、不納欠損処分については、法的手続き及び負担能力の調査等を十分行った上で対応されたい。

歳出については、歳出総額 161 億 8,315 万 8 千円であり、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として特別定額給付金事業のほか、地方創生臨時交付金を活用した様々な事業の実施及び令和元年東日本台風の災害復旧に関する事業費を予算計上したことで前年度と比較すると 43 億 8,213 万 4 千円の増加となっている。

基金及び歳計現金等の公金については、市で定めた「公金等の管理運用に関する基準」に基づき、リスクに配慮した上で適正に管理されている。また、定期預金積み立ての際の複数金融機関による見積み合わせや、歳計現金等の一部定期預金による運用については、現在は超低金利時代であり、継続して高い効果を挙げ続けることは難しいと考えるが、今後も安全性を担保できる範囲で可能な限り効率的な資金運用を図られたい。

甚大な被害が生じた令和元年東日本台風に関する災害復旧関連経費として、公共施設、農地・農業用施設等の災害復旧を目的とした予算が計上され、事業を実施したところであり、次年度に繰越等を行った農地・農業用施設等に関して、事業完了に向け適切に対応されたい。

また、国・県・市等が連携して行う「那珂川緊急治水対策プロジェクト」における霞堤整備及び防災集団移転事業等の実施に向け適切に対応されたい。

### ○特別会計

特別会計については、各会計の歳入総額 70 億 9,751 万 1 千円、歳出総額 68 億 7,895 万 9 千円で、実質収支額は 2 億 1,855 万 2 千円となっている。一般会計からの赤字補てん的な繰入金に依存した運営となっている会計が依然として見られる。各会計

とも独立採算の原則に基づいた経営を求めるものである。

### ○今後の財政状況

本市が誕生してから15年が経過し、平成30年3月に策定された那須烏山市第2次総合計画に基づく行政運営が行われている。

平成28年度に策定された公共施設等総合管理計画においては、建築物系やインフラ系公共施設の老朽化、耐震化への対応のため、長期にわたり多大な財源不足が指摘されている。令和2年度に国保境診療所及び荒川体育館の2施設を用途廃止し、策定後においては、統廃合を目的とした9施設の用途廃止が行われたが、今後も公共施設の適正な配置等に努められたい。

さらに、今後の庁舎整備及び広域行政事務組合に対する財政負担が伴うことや、少子高齢化や人口減少に対応した社会保障施策に係る費用も年々増加傾向にある。今後とも、情報の積極的な発信と市民への丁寧な説明を望むものである。

### ○人材の育成確保

市民ニーズの多様化・複雑化に的確に対応するためには、人材の育成確保が必要不可欠と考える。

職員の資質向上と意識改革とともに、有資格者等の退職を見据えた計画的な人材確保を望むものである。

### ○法令等に対する適正な対応

本市においても契約の締結に係る手続きに関して、根拠が不明瞭なケースが見受けられた。また、契約に関する法令等が改正されたことから、契約書を取り交わす際は法令等を遵守し遺漏のないよう適正な事務の執行に努められたい。

### ○災害等緊急時に対する対応

市民の生命及び財産を守る観点から、緊急時に対応するには訓練や行動マニュアル等が必要と考える。

様々な緊急事態に備えて、行動マニュアルの作成や訓練等を実施し、早急かつ適切な対応ができるよう努められたい。